

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品
マザーファンドの運用方法	<p>①主としてカナダ・ドル建ての公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上（ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、合計で信託財産の純資産総額の10％程度を上限とします。</p> <p>ハ. 国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10％程度を上限とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、カナダ・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100％に近づけることを基本とします。</p> <p>④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ高格付カナダドル債 オープン (毎月分配型)

運用報告書（全体版）

第174期（決算日	2017年12月11日）
第175期（決算日	2018年1月10日）
第176期（決算日	2018年2月13日）
第177期（決算日	2018年3月12日）
第178期（決算日	2018年4月10日）
第179期（決算日	2018年5月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）」は、このたび、第179期の決算を行ないました。

ここに、第174期～第179期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSEカナダ国債インデックス (円換算)		公社債組入比率	債券先物率比	純資産総額
	(分配落)	税込み金分配	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
150期末(2015年12月10日)	5,423	60	△ 2.7	18,913	△2.0	97.9	—	445,704
151期末(2016年 1月12日)	4,982	60	△ 7.0	17,713	△6.3	97.8	—	399,949
152期末(2016年 2月10日)	4,929	60	0.1	17,900	1.1	98.2	—	386,803
153期末(2016年 3月10日)	5,009	60	2.8	18,285	2.2	97.9	—	389,013
154期末(2016年 4月11日)	4,823	60	△ 2.5	17,891	△2.2	98.1	—	371,438
155期末(2016年 5月10日)	4,799	60	0.7	18,005	0.6	98.0	—	366,802
156期末(2016年 6月10日)	4,784	60	0.9	18,281	1.5	98.4	—	361,164
157期末(2016年 7月11日)	4,360	60	△ 7.6	17,064	△6.7	98.3	—	325,752
158期末(2016年 8月10日)	4,320	60	0.5	17,110	0.3	97.5	—	318,998
159期末(2016年 9月12日)	4,289	60	0.7	17,150	0.2	97.6	—	312,824
160期末(2016年10月11日)	4,241	60	0.3	17,204	0.3	97.8	—	305,582
161期末(2016年11月10日)	4,172	40	△ 0.7	16,992	△1.2	97.2	—	296,546
162期末(2016年12月12日)	4,565	40	10.4	18,578	9.3	97.4	—	315,713
163期末(2017年 1月10日)	4,520	40	△ 0.1	18,599	0.1	97.3	—	307,537
164期末(2017年 2月10日)	4,419	40	△ 1.3	18,341	△1.4	97.4	—	293,554
165期末(2017年 3月10日)	4,303	40	△ 1.7	17,950	△2.1	97.5	—	280,924
166期末(2017年 4月10日)	4,179	40	△ 2.0	17,743	△1.2	97.7	—	268,694
167期末(2017年 5月10日)	4,148	40	0.2	17,810	0.4	97.2	—	263,061
168期末(2017年 6月12日)	4,072	40	△ 0.9	17,789	△0.1	97.3	—	252,743
169期末(2017年 7月10日)	4,293	40	6.4	18,793	5.6	97.5	—	261,547
170期末(2017年 8月10日)	4,161	40	△ 2.1	18,363	△2.3	95.5	—	249,422
171期末(2017年 9月11日)	4,214	40	2.2	18,813	2.5	97.0	—	249,365
172期末(2017年10月10日)	4,199	40	0.6	18,835	0.1	97.6	—	244,718
173期末(2017年11月10日)	4,166	40	0.2	19,012	0.9	97.4	—	239,313
174期末(2017年12月11日)	4,084	40	△ 1.0	18,873	△0.7	97.4	—	233,077
175期末(2018年 1月10日)	4,084	40	1.0	18,952	0.4	97.4	—	230,497
176期末(2018年 2月13日)	3,861	40	△ 4.5	18,086	△4.6	96.8	—	214,161
177期末(2018年 3月12日)	3,697	40	△ 3.2	17,553	△3.0	97.3	—	202,717
178期末(2018年 4月10日)	3,704	25	0.9	17,820	1.5	97.6	—	200,774
179期末(2018年 5月10日)	3,730	25	1.4	17,987	0.9	97.4	—	196,344

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSEカナダ国債インデックス (円換算) は、FTSEカナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSEカナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

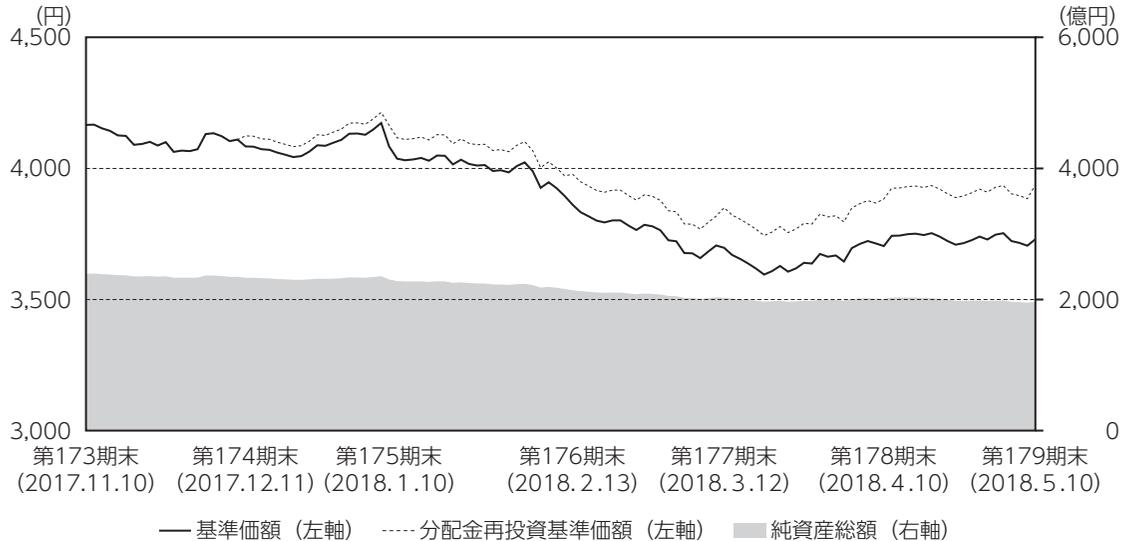
(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかにについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第174期首：4,166円

第179期末：3,730円（既払分配金210円）

騰落率：△5.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が上昇（債券価格は下落）したことやカナダ・ドルが対円で下落（円高）したことが基準価額のマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E カ ナ ダ 国 債 インデックス (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第174期	(期首)2017年11月10日	4,166	—	19,012	—	97.4	—
	11月末	4,066	△2.4	18,570	△2.3	97.1	—
	(期末)2017年12月11日	4,124	△1.0	18,873	△0.7	97.4	—
第175期	(期首)2017年12月11日	4,084	—	18,873	—	97.4	—
	12月末	4,133	1.2	19,082	1.1	97.7	—
	(期末)2018年 1 月10日	4,124	1.0	18,952	0.4	97.4	—
第176期	(期首)2018年 1 月10日	4,084	—	18,952	—	97.4	—
	1 月末	3,985	△2.4	18,522	△2.3	97.0	—
	(期末)2018年 2 月13日	3,901	△4.5	18,086	△4.6	96.8	—
第177期	(期首)2018年 2 月13日	3,861	—	18,086	—	96.8	—
	2 月末	3,764	△2.5	17,661	△2.3	97.4	—
	(期末)2018年 3 月12日	3,737	△3.2	17,553	△3.0	97.3	—
第178期	(期首)2018年 3 月12日	3,697	—	17,553	—	97.3	—
	3 月末	3,663	△0.9	17,528	△0.1	97.7	—
	(期末)2018年 4 月10日	3,729	0.9	17,820	1.5	97.6	—
第179期	(期首)2018年 4 月10日	3,704	—	17,820	—	97.6	—
	4 月末	3,729	0.7	17,859	0.2	97.0	—
	(期末)2018年 5 月10日	3,755	1.4	17,987	0.9	97.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017.11.11～2018.5.10)

■カナダ債券市場

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

カナダ債券市場の金利は上昇しました。

第174期首より2017年12月末にかけては、堅調な経済指標がみられたことに加え、米国で税制改革法が成立し市場のリスク選好度が強まったことから、カナダの金利は上昇しました。2018年1月も、カナダ銀行が0.25%ポイントの利上げを実施したことを背景に金利の上昇が続きしました。2月後半に入ると、株価が下落するなど市場のリスク回避姿勢が強まり金利は一時低下しましたが、4月には、米国金利や原油価格が上昇したことなどを背景に金利は再び上昇しました。

■為替相場

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

カナダ・ドルの対円為替レートは下落しました。

第174期首より2017年12月末にかけては、カナダの経済指標や市場のリスク選好度に左右されつつ、カナダ・ドル円は一進一退の推移となりました。2018年に入ると、日銀の超長期国債買いオペの減額をきっかけに日本の金融正常化観測が高まったことなどから円高圧力が高まり、カナダ・ドル円は下落しました。2月以降も、米国金利の上昇や米国の保護主義に対する懸念などを背景に株価が下落し、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、カナダ・ドル円の下落が続きしました。しかし3月半ばに入ると、原油価格が堅調に推移したことや米国の保護主義に対する懸念が後退したことなどから、カナダ・ドル円は上昇しました。

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

(2017.11.11～2018.5.10)

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」を高位に組み入れました。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。金利が低下するとの見通しが強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利が上昇するとの見通しが強まった局面では短期化するなど、経済動向や金融市場の分析に基づき対応を行ないました。

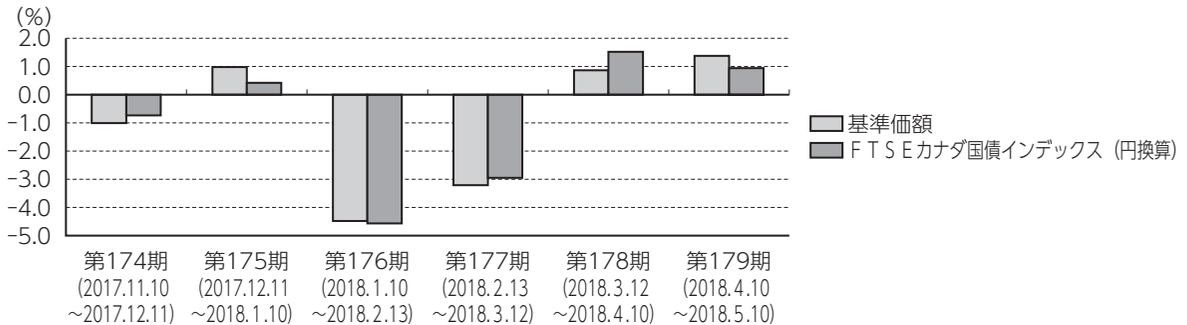
債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めを保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの外国債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第174期～第177期はそれぞれ40円、第178期～第179期は25円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期
	2017年11月11日 ～2017年12月11日	2017年12月12日 ～2018年1月10日	2018年1月11日 ～2018年2月13日	2018年2月14日 ～2018年3月12日	2018年3月13日 ～2018年4月10日	2018年4月11日 ～2018年5月10日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	25	25
対基準価額比率（%）	0.97	0.97	1.03	1.07	0.67	0.67
当期の収益（円）	12	15	13	10	13	14
当期の収益以外（円）	27	24	26	29	11	10
翌期繰越分配対象額（円）	341	317	291	261	249	238

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期
(a) 経費控除後の配当等収益	12.94円	15.51円	13.91円	10.13円	13.08円	14.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	368.81	341.82	317.37	291.30	261.45	249.55
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	381.76	357.33	331.29	301.44	274.54	263.67
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	341.76	317.33	291.29	261.44	249.54	238.67

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

■ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

主としてカナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第174期～第179期 (2017.11.11～2018.5.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	26円	0.671%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は3,889円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目 論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後 の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.026)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・ 資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	27	0.687	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月11日から2018年5月10日まで)

決算期	第174期～第179期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付カナダドル債 マザーファンド	239,416	425,123	18,336,405	31,764,893

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第174期～第179期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第173期末		第179期末	
	□数	評価額	□数	評価額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	131,732,580	113,635,591	195,385,035	

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年12月11日)、(2018年1月10日)、(2018年2月13日)、(2018年3月12日)、(2018年4月10日)、(2018年5月10日)現在

項目	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末
(A) 資産	236,105,702,025円	233,374,764,781円	216,933,405,662円	205,385,901,608円	202,514,872,222円	198,337,374,961円
コール・ローン等	3,777,756,293	3,669,583,199	3,573,510,376	3,392,311,927	2,521,555,824	2,469,366,946
ダイワ高格付カナダドル債 マザーファンド(評価額)	231,947,388,640	229,402,082,731	213,125,118,631	201,759,817,119	199,815,834,240	195,385,035,524
未収入金	380,557,092	303,098,851	234,776,655	233,772,562	177,482,158	482,972,491
(B) 負債	3,027,713,028	2,876,851,984	2,771,454,448	2,668,318,158	1,740,003,057	1,992,849,178
未払収益分配金	2,282,733,719	2,257,492,271	2,218,539,420	2,193,473,222	1,355,141,435	1,315,989,464
未払解約金	474,334,345	360,895,843	270,739,740	266,985,511	170,358,447	454,459,566
未払信託報酬	270,463,864	258,107,270	281,622,966	207,152,896	213,624,901	221,336,197
その他未払費用	181,100	356,600	552,322	706,529	878,274	1,063,951
(C) 純資産総額(A-B)	233,077,988,997	230,497,912,797	214,161,951,214	202,717,583,450	200,774,869,165	196,344,525,783
元本	570,683,429,963	564,373,067,827	554,634,855,073	548,368,305,525	542,056,574,030	526,395,785,654
次期繰越損益金	△337,605,440,966	△333,875,155,030	△340,472,903,859	△345,650,722,075	△341,281,704,865	△330,051,259,871
(D) 受益権総口数	570,683,429,963□	564,373,067,827□	554,634,855,073□	548,368,305,525□	542,056,574,030□	526,395,785,654□
1万口当り基準価額(C/D)	4,084円	4,084円	3,861円	3,697円	3,704円	3,730円

*第173期末における元本額は574,381,445,518円、当作成期間（第174期～第179期）中における追加設定元本額は23,656,509,670円、同解約元本額は71,642,169,534円です。

*第179期末の計算口数当りの純資産額は3,730円です。

*第179期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は330,051,259,871円です。

■投資信託財産の構成

2018年5月10日現在

項目	第179期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド	195,385,035	98.5
コール・ローン等、その他	2,952,339	1.5
投資信託財産総額	198,337,374	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月10日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル=85.59円です。

(注3) ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドにおいて、第179期末における外貨建純資産（226,545,755千円）の投資信託財産総額（231,464,060千円）に対する比率は、97.9%です。

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

■損益の状況

第174期 自2017年11月11日 至2017年12月11日 第177期 自2018年2月14日 至2018年3月12日
 第175期 自2017年12月12日 至2018年1月10日 第178期 自2018年3月13日 至2018年4月10日
 第176期 自2018年1月11日 至2018年2月13日 第179期 自2018年4月11日 至2018年5月10日

項目	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期	第 179 期
(A) 配当等収益	△ 89,107円	△ 71,826円	△ 64,818円	△ 52,866円	△ 75,692円	△ 63,265円
受取利息	1,016	597	705	372	530	867
支払利息	△ 90,123	△ 72,423	△ 65,523	△ 53,238	△ 76,222	△ 64,132
(B) 有価証券売買損益	△ 2,101,345,415	△ 2,509,750,009	△ 9,839,402,523	△ 6,615,185,953	△ 1,964,384,096	△ 2,906,703,603
売買益	63,461,777	2,536,745,890	95,494,339	85,808,297	1,999,788,443	2,956,010,386
売買損	△ 2,164,807,192	△ 26,995,881	△ 9,934,896,862	△ 6,700,994,250	△ 35,404,347	△ 49,306,783
(C) 信託報酬等	△ 270,644,964	△ 258,282,770	△ 281,818,688	△ 207,307,103	△ 213,796,646	△ 221,524,038
(D) 当期損益(A+B+C)	△ 2,372,079,486	△ 2,251,395,413	△ 10,121,286,029	△ 6,822,545,922	△ 1,750,511,758	△ 2,685,116,300
(E) 前期繰越損益金	△ 74,021,745,331	△ 75,365,243,252	△ 72,238,171,145	△ 81,908,524,670	△ 87,928,722,552	△ 84,222,991,128
(F) 追加信託差損益金	△ 258,928,882,430	△ 258,503,814,920	△ 255,894,907,265	△ 254,726,178,261	△ 253,748,352,636	△ 247,197,395,579
(配当等相当額)	(21,047,489,353)	(19,291,487,906)	(17,602,611,553)	(15,974,220,854)	(14,172,576,262)	(13,136,582,693)
(売買損益相当額)	(△279,976,371,783)	(△277,795,302,826)	(△273,497,518,818)	(△270,700,399,115)	(△267,920,928,898)	(△260,333,978,272)
(G) 合計(D+E+F)	△ 335,322,707,247	△ 331,617,662,759	△ 338,254,364,439	△ 343,457,248,853	△ 339,926,563,430	△ 328,735,270,407
(H) 収益分配金	△ 2,282,733,719	△ 2,257,492,271	△ 2,218,539,420	△ 2,193,473,222	△ 1,355,141,435	△ 1,315,989,464
次期繰越損益金(G+H)	△ 337,605,440,966	△ 333,875,155,030	△ 340,472,903,859	△ 345,650,722,075	△ 341,281,704,865	△ 330,051,259,871
追加信託差損益金	△ 260,472,596,974	△ 259,885,766,087	△ 257,341,436,825	△ 256,363,657,959	△ 254,394,003,726	△ 247,770,211,198
(配当等相当額)	(19,503,774,809)	(17,909,536,739)	(16,156,081,993)	(14,336,741,156)	(13,526,925,172)	(12,563,767,074)
(売買損益相当額)	(△279,976,371,783)	(△277,795,302,826)	(△273,497,518,818)	(△270,700,399,115)	(△267,920,928,898)	(△260,333,978,272)
繰越損益金	△ 77,132,843,992	△ 73,989,388,943	△ 83,131,467,034	△ 89,287,064,116	△ 86,887,701,139	△ 82,281,048,673

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期	第 179 期
(a) 経費控除後の配当等収益	739,019,175円	875,541,104円	772,009,860円	555,993,524円	709,490,345円	743,173,845円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	21,047,489,353	19,291,487,906	17,602,611,553	15,974,220,854	14,172,576,262	13,136,582,693
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	21,786,508,528	20,167,029,010	18,374,621,413	16,530,214,378	14,882,066,607	13,879,756,538
(f) 分配金	2,282,733,719	2,257,492,271	2,218,539,420	2,193,473,222	1,355,141,435	1,315,989,464
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	19,503,774,809	17,909,536,739	16,156,081,993	14,336,741,156	13,526,925,172	12,563,767,074
(h) 受益権総口数	570,683,429,963口	564,373,067,827口	554,634,855,073口	548,368,305,525口	542,056,574,030口	526,395,785,654口

ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 174 期	第 175 期	第 176 期	第 177 期	第 178 期	第 179 期
1 万 口 当 り 分 配 金	40円	40円	40円	40円	25円	25円
(単 価)	(4,084円)	(4,084円)	(3,861円)	(3,697円)	(3,704円)	(3,730円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

運用報告書 第30期 (決算日 2018年5月10日)

(計算期間 2017年11月11日～2018年5月10日)

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンドの第30期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債等および短期金融商品
運用方法	<p>①主としてカナダ・ドル建ての公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上（ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、合計で信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ハ. 国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、カナダ・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

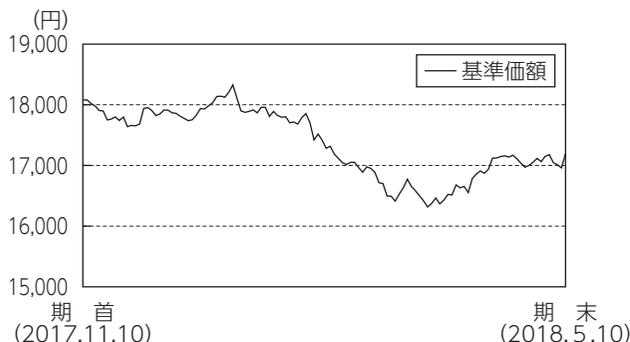
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		FTSEカナダ国債インデックス (円換算)		公社債入率 %	債券先比 %	債券率 %
	円	%	(参考指数)	%			
(期首)2017年11月10日	18,078	—	19,012	—	97.8	—	—
11月末	17,654	△2.3	18,570	△2.3	97.6	—	—
12月末	18,141	0.3	19,082	0.4	98.1	—	—
2018年1月末	17,683	△2.2	18,522	△2.6	97.5	—	—
2月末	16,887	△6.6	17,661	△7.1	97.8	—	—
3月末	16,631	△8.0	17,528	△7.8	98.1	—	—
4月末	17,063	△5.6	17,859	△6.1	97.4	—	—
(期末)2018年5月10日	17,194	△4.9	17,987	△5.4	97.9	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSEカナダ国債インデックス (円換算) は、FTSEカナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) のデータをもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSEカナダ国債インデックス (カナダ・ドルベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,078円 期末：17,194円 騰落率：△4.9%

【基準価額の主な変動要因】

カナダ・ドル建ての債券に投資した結果、金利が上昇 (債券価格が下落) したことやカナダ・ドルが対円で下落 (円高) したことが基準価額のマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○カナダ債券市場

カナダ債券市場の金利は上昇しました。

期首より2017年12月末にかけては、低調な経済指標がみられたことに加え、米国で税制改革法が成立し市場のリスク選好度が高まったことから、カナダの金利は上昇しました。2018年1月も、カナダ銀行が0.25%ポイントの利上げを実施したことを背景に金利の上昇が続きました。2月後半に入ると、株価が下落するなど市

場のリスク回避姿勢が強まり金利は一時低下しましたが、4月には、米国金利や原油価格が上昇したことなどを背景に金利は再び上昇しました。

○為替相場

カナダ・ドルの対円為替レートは下落しました。

期首より2017年12月末にかけては、カナダの経済指標や市場のリスク選好度に左右されつつ、カナダ・ドル円は一進一退の推移となりました。2018年に入ると、日銀の超長期国債買いオペの減額をきっかけに日本の金融正常化観測が高まったことなどから円高圧力が高まり、カナダ・ドル円は下落しました。2月以降も、米国金利の上昇や米国の保護主義に対する懸念などを背景に株価が下落し、市場のリスク回避姿勢が強まったことで、カナダ・ドル円の下落が続きました。しかし3月半ばに入ると、原油価格が堅調に推移したことや米国の保護主義に対する懸念が後退したことなどから、カナダ・ドル円は上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。金利が低下するとの見通しが強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利が上昇するとの見通しが強まった局面では短期化するなど、経済動向や金融市場の分析に基づき対応を行ないました。

債券種別構成に関しては、カナダの州債の組入比率を高めに保ちました。

為替に関しては、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

当ファンドは、運用方針により、参考指数と比較して州債や事業債など国債以外の債券にも投資しているという特徴があります。参考指数はカナダの外国債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

カナダ・ドル建ての公社債等を高位に組み入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。市場動向や経済環境に基づく金利見通しに従い、ポートフォリオの修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、カナダ・ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合計	3

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公社債

(2017年11月11日から2018年5月10日まで)

			買付額	売付額
			千カナダ・ドル	千カナダ・ドル
外 国	カナダ	国債証券	—	145,862 (—)
		地方債証券	48,701	35,963 (218)
		特殊債券	—	40,242 (—)
		社債券	305,888	402,652 (13,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公社債

(2017年11月11日から2018年5月10日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘柄	柄	金額	銘柄	柄	金額
		千円			千円
Toronto-Dominion Bank/The (カナダ)	2.621% 2021/12/22	4,865,149	Bank of Montreal (カナダ)	6.02% 2018/5/2	11,772,666
Province of Quebec Canada (カナダ)	2.5% 2026/9/1	4,168,361	GE Capital Canada Funding Co (カナダ)	5.68% 2019/9/10	8,856,255
Royal Bank of Canada (カナダ)	1.583% 2021/9/13	3,385,832	Royal Bank of Canada (カナダ)	3.77% 2018/3/30	7,993,927
HSBC Bank Canada (カナダ)	2.449% 2021/1/29	2,907,014	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ)	1% 2027/6/1	4,205,652
HSBC Bank Canada (カナダ)	2.542% 2023/1/31	2,881,159	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ)	10.5% 2021/3/15	3,707,138
Royal Bank of Canada (カナダ)	1.968% 2022/3/2	2,852,378	HYDRO QUEBEC (カナダ)	11% 2020/8/15	3,121,704
Toronto-Dominion Bank/The (カナダ)	1.693% 2020/4/2	2,675,279	Province of Manitoba Canada (カナダ)	5.5% 2018/11/15	3,044,868
HSBC Bank Canada (カナダ)	1.816% 2020/7/7	2,431,857	CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ)	5.75% 2033/6/1	2,391,561
HSBC Bank Canada (カナダ)	2.908% 2021/9/29	1,675,794	Mun Fin Auth of British Columbia (カナダ)	5.1% 2018/11/20	2,167,883
Toronto-Dominion Bank/The (カナダ)	1.909% 2023/7/18	1,615,391	HYDRO QUEBEC (カナダ)	5.5% 2018/8/15	1,917,805

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■ 組入資産明細表

(1) 外国(外貨建)公社債(通貨別)

作成区分	当			期			末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
カナダ	千カナダ・ドル 2,364,908	千カナダ・ドル 2,593,899	千円 222,011,892	% 97.9	% —	% 23.5	% 64.1	% 10.3	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ダイワ高格付カナダドル債マザーファンド

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	末		償 還 年 月 日
						評 価 額		
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
				%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
カナダ		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	10.5000	175,545	216,306	18,513,677	2021/03/15
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	9.7500	18,000	22,078	1,889,739	2021/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	10,000	13,231	1,132,466	2029/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.7500	55,000	77,898	6,667,349	2033/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	5.0000	12,000	16,635	1,423,799	2037/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.0000	21,000	26,647	2,280,798	2041/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	45,000	44,776	3,832,407	2025/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.5000	80,000	75,012	6,420,277	2026/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	30,000	26,646	2,280,656	2027/06/01
		Province of Nova Scotia Canada	地方債証券	9.6000	3,430	4,285	366,802	2022/01/30
		Province of Quebec Canada	地方債証券	9.3750	15,000	19,437	1,663,625	2023/01/16
		Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	71,000	75,442	6,457,121	2021/12/01
		Province of Quebec Canada	地方債証券	2.5000	50,000	48,560	4,156,250	2026/09/01
		Province of Quebec Canada	地方債証券	1.6500	10,000	9,733	833,064	2022/03/03
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	9.5000	7,822	11,148	954,237	2025/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.1500	20,000	20,490	1,753,773	2022/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	4.0000	5,000	5,243	448,774	2021/06/02
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	2.6000	23,000	22,287	1,907,564	2022/06/02
		Province of Saskatchewan Canada	地方債証券	9.6000	40,683	50,831	4,350,692	2022/02/04
		PROVINCE OF SASKATCHEWAN	地方債証券	8.7500	2,000	2,750	235,398	2025/05/30
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	5.3000	35,000	36,328	3,109,394	2019/06/17
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	9.9500	50,430	61,401	5,255,315	2021/05/15
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	5.6000	66	66	5,664	2018/06/01
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	9.0000	11,860	16,102	1,378,248	2024/08/23
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	10.6000	49,587	58,925	5,043,452	2020/09/05
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	9.5000	89,400	113,268	9,694,609	2022/06/09
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	3.2500	25,000	25,733	2,202,551	2021/12/18
		Province of Alberta Canada	地方債証券	2.5500	72,000	71,930	6,156,564	2022/12/15
		Province of Alberta Canada	地方債証券	2.2000	130,000	123,217	10,546,220	2026/06/01
		Province of Alberta Canada	地方債証券	3.3000	6,000	6,039	516,934	2046/12/01
		PSP Capital Inc	特殊債証券	3.0300	20,000	20,379	1,744,272	2020/10/22
		PSP Capital Inc	特殊債証券	3.2900	25,000	25,724	2,201,759	2024/04/04
		PSP Capital Inc	特殊債証券	1.7300	25,000	24,211	2,072,219	2022/06/21
		CPPIB Capital Inc	特殊債証券	1.1000	20,000	19,840	1,698,174	2019/06/10
		CPPIB Capital Inc	特殊債証券	1.4000	20,000	19,701	1,686,277	2020/06/04
		CDP Financial Inc	特殊債証券	4.6000	20,000	20,959	1,793,897	2020/07/15
		Mun Fin Auth of British Columbia	特殊債証券	5.1000	13,685	13,940	1,193,202	2018/11/20
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	2.6210	70,000	69,673	5,963,380	2021/12/22
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	2.4470	10,000	10,034	858,818	2019/04/02
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	1.6800	67,000	65,176	5,578,436	2021/06/08
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	2.0450	10,000	9,830	841,418	2021/03/08
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	1.6930	30,000	29,562	2,530,288	2020/04/02
		Toronto-Dominion Bank/The	社債証券	1.9090	20,000	18,986	1,625,080	2023/07/18
		HSBC Bank Canada	社債証券	2.5420	35,000	34,180	2,925,521	2023/01/31
		HSBC Bank Canada	社債証券	2.1700	10,000	9,678	828,340	2022/06/29
		HSBC Bank Canada	社債証券	2.9080	20,000	19,990	1,710,995	2021/09/29
		HSBC Bank Canada	社債証券	2.4490	35,000	34,639	2,964,764	2021/01/29
		HSBC Bank Canada	社債証券	1.8160	30,000	29,448	2,520,454	2020/07/07
		GE Capital Canada Funding Co	社債証券	5.6800	63,000	65,644	5,618,479	2019/09/10
		Apple Inc	社債証券	2.5130	50,000	48,440	4,146,022	2024/08/19

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
			%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
	Canadian Imperial Bank of Commerce/Canad	社 債 券	1.7000	10,000	9,996	855,574	2018/10/09
	HYDRO QUEBEC	社 債 券	10.5000	24,660	31,156	2,666,657	2021/10/15
	HYDRO QUEBEC	社 債 券	11.0000	215,000	256,699	21,970,888	2020/08/15
	HYDRO QUEBEC	社 債 券	5.5000	450	454	38,941	2018/08/15
	HYDRO QUEBEC	社 債 券	9.6250	30,835	39,418	3,373,806	2022/07/15
	Ontario Electricity Financial Corp	社 債 券	10.1250	88,681	110,779	9,481,610	2021/10/15
	Ontario Electricity Financial Corp	社 債 券	8.9000	60,274	75,491	6,461,306	2022/08/18
	Ontario Electricity Financial Corp	社 債 券	10.0000	13,100	14,862	1,272,101	2020/02/06
	Ontario Electricity Financial Corp	社 債 券	9.0000	5,400	7,453	637,941	2025/05/26
	Royal Bank of Canada	社 債 券	1.5900	52,000	51,239	4,385,611	2020/03/23
	Royal Bank of Canada	社 債 券	1.9680	35,000	33,912	2,902,575	2022/03/02
	Royal Bank of Canada	社 債 券	1.4000	20,000	19,891	1,702,504	2019/04/26
	Royal Bank of Canada	社 債 券	2.3330	12,000	11,568	990,146	2023/12/05
	Royal Bank of Canada	社 債 券	1.5830	40,000	38,474	3,292,989	2021/09/13
合 計	銘 柄 数 金 額	64銘柄		2,364,908	2,593,899	222,011,892	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	222,011,892	95.9
コール・ローン等、その他	9,452,167	4.1
投資信託財産総額	231,464,060	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月10日における邦貨換算レートは、1カナダ・ドル=85.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(226,545,755千円)の投資信託財産総額(231,464,060千円)に対する比率は、97.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	232,148,534,458円
コール・ローン等	2,550,335,485
公社債(評価額)	222,011,892,294
未収入金	4,506,752,620
未収利息	2,949,114,728
前払費用	42,853,483
差入委託証拠金	87,585,848
(B) 負債	5,386,293,976
未払金	4,852,841,385
未払解約金	533,446,740
その他未払費用	5,851
(C) 純資産総額(A - B)	226,762,240,482
元本	131,887,403,581
次期繰越損益金	94,874,836,901
(D) 受益権総口数	131,887,403,581口
1万口当り基準価額(C/D)	17,194円

* 期首における元本額は150,059,618,485円、当期中における追加設定元本額は1,064,810,491円、同解約元本額は19,237,025,395円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界債券ファンドM(FOF5用)(適格機関投資家専用)167,617,485円、常陽3分法ファンド109,720,254円、ダイワ高格付カナダドル債オープン(年1回決算型)2,062,109,318円、ダイワ高格付カナダドル債オープン・為替アクティブヘッジ(毎月分配型)91,878,038円、ダイワ世界債券ファンドV A(適格機関投資家専用)24,721,908円、ダイワ世界債券ファンド(毎月分配型)3,426,454,549円、ダイワ・グローバル債券ファンド(年2回決算型)59,423,577円、ダイワ世界債券ファンド(年2回決算型)5,045,874円、ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)113,635,591,209円、ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)12,304,841,369円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,194円です。

■損益の状況

当期 自2017年11月11日 至2018年5月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	6,187,211,849円
受取利息	6,187,368,203
支払利息	△ 156,354
(B) 有価証券売買損益	△ 19,200,542,327
売買益	15,850,479
売買損	△ 19,216,392,806
(C) その他費用	△ 38,724,421
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 13,052,054,899
(E) 前期繰越損益金	121,223,296,358
(F) 解約差損益金	△ 14,107,477,892
(G) 追加信託差損益金	811,073,334
(H) 合計(D + E + F + G)	94,874,836,901
次期繰越損益金(H)	94,874,836,901

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。